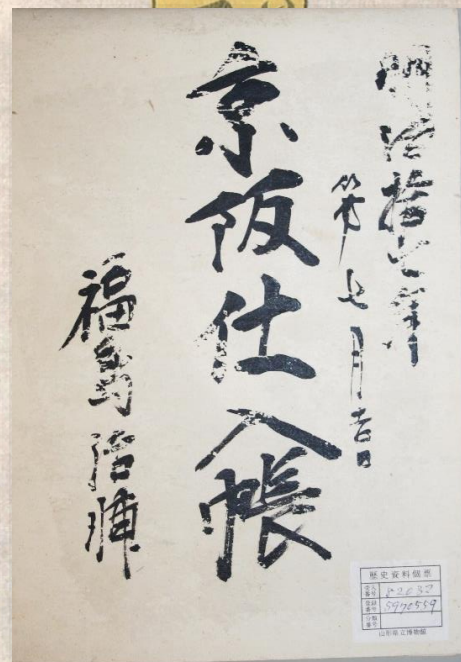


江戸時代の衣生活と古着流通
—上方・江戸から山形へ—

事前申込制 (先着順)
12/16 (火) ~ 1/9 (金)



●講座内容

江戸時代の人びとは日常的に古着を着用しました。古着は種類がとて多く、品質は様々で、人びとが生活する場の隅々まで流通網が形成されていました。山形県内に現存する古文書をもとに、上方や江戸に集まった古着が海運・陸運を駆使して消費者の元へ届く過程を追いながら、当時の衣生活と、現代にもつながる古着の消費と活用について考えてみましょう。



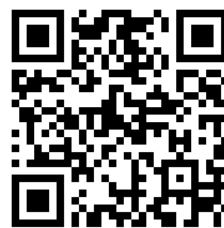
講師

寺内 由佳

東北大学東北アジア研究
センター上廣歴史資料学
研究部門 助教

専門分野・経歴等

栃木県宇都宮市出身。お茶の水女子大学大学院修了、
同大学基幹研究院研究員・非常勤講師などを経て
2025年より東北大学東北アジア研究センターに所属。
専門は日本近世史。北関東～南東北を主なフィールド
として資料調査をおこない、商品流通に関する研
究に取り組む。



●お申し込みはQRまたはHPから ●会場：山形県立博物館 講堂
●申し込み期間：12/16 (火) ~ 1/9 (金) ●参加費無料

お問い合わせ：山形県立博物館 講座担当係 TEL：023 - 645 - 1111